

あきる野市 平成15年(2003年)3月31日 第2号

町・自連会報

発行/平成15年3月31日 発行者/青木旦治 編集/あきる野市町内会・自治会連合会

子供に想い出多い 故郷を

私達の町内会もここ二、三年の間に、約三十世帯もの転入者を迎えることができ、今や二百四十もの大世帯になり、おのづと子供の数も急増し、来年度は、小学生の人数も九十八名もの大人数になりました。

さて、昨今町内会の年中行事も参加人員が減少し、どちらの役員も皆さんも少なからず頭を痛めていることではないだろうか。

私達が子供の頃は、お祭りや盆踊り、そして川や山と遊びまわり沢山の想い出に残る宝物を山積して大人になった。今、昔しを振りかえると



本当に懐かしく懐の中なつかに浮かびます。

今、大勢の子供達がこの街で生れ育ち学び、少年時代を過ごし、やがて大人となって社会にで、また住みなれた家から巣立って行くときに、その子供達に少年時代に、楽しかった想い出のある街、実家としてまた故郷にしてあげたいと思うが如何なものでしょうか。

それには、親が子供と共にいろいろな行事に、また遊びに積極的に参加をし、楽しむことにより、養われるのではないだろうかと思うのは、私だけでは無いと思います。

(荻谷)

視察研修について

町内会・自治会連合会では知識の向上を図る目的で、全会長を対象にした視察研修を毎年行っており、本年度は二回実施しました。

十一月、新潟県にある東京電力柏崎刈羽原子力発電所を見学しました。



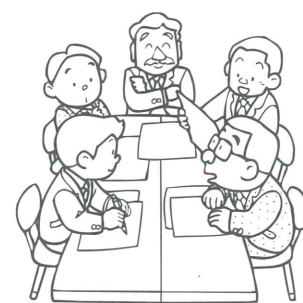
【エーザイ美里工場にて】

昨年は電力各社が事故隠し問題となりました。何故このような時に行くのかとの意見も出ましたので確認しましたところ、安全面は大丈夫ですとのことで実施いたしました。

見学は一時間半のコースでハイビジョンシアター、展示ホール、発電所構内を見学しました。

懇親会では、各会長が平素行っている諸行事や活動等、情報交換の場として有意義に終了しました。

日帰り研修は、平成十五年三月に埼玉県美里町にある



(榎原)

エーザイ美里工場と坂戸市にある明治製菓関東工場の二ヶ所を設定し見学しました。エーザイは製剤工場で、従業員数三百五十人、パート百五十人です。この工場は、地域社会と共存を図ることを主眼にしているそうです。

明治製菓は菓子製造で従業員数二百人、パート九百人です。

この工場では、障害者雇用促進のため障害者に優しい職場の実現を主眼にしているとのことでした。私たちはそれぞれ地域の会長として市民の皆様方が、楽しく安心して、快適に住みよい街づくりを一緒になって進めて行く考えに立ち、幅広い知識を持つよう今後も多方面への視察研修を行って行く考えであります。

会報は産声を上げたばかりです。限られた紙面をより効果的な内容にするには、会員皆様のご意見も必要です。充実した会報になるよう日々研鑽に努めます。宜しくお願ひします。

(栗原)

編集後記

あきる野市町・自連会報第二号をお届けします。

本号から編集委員が十二名となり、編集会議も創刊号を参考にしながら、町内会・自治会の現況と将来像をどのように、会報に取り入れていくかと討論を重ねています。

平成十四年度の活動目標とした「組織の強化」「行政との業務の効率化」「連合会」の課題も会報の中で、理解されるようにと努力しています。

連合会の研修、IT部会の活動内容、町内会・自治会のブロック紹介等は随時、取り上げていきたいと考えています。

三役を対象に講習会を開催する。

また、あきる野市行政においても昨年12月の「あきる野地域情報化計画」(仮称)の策定を始めました。市内の6つのグループに分け、その1団体として町内会・自治会代表でインタビューをIT部会の瀬沼、小机、草間が受けました。これらは地域住民との情報交換、情報公開の1つの現れでしょう。IT情報化が進むにつれて市民と行政の繋がりが、なお一層深まると思っています。

町内会・自治会連合会 IT化に向けて始動!!

IT部会で行っている作業

(1)「市の補助金申請などにかかわる事務の合理化」

書類、書式の整合性・書類整理敏速、簡素化・情報交換等。

(2)「情報技術を取り込みIT化推進をはかる」などの二本

柱を進めている。

(連合会、町内会・自治会のメリット) 各会長に関わる作業の簡易化・書類作成のミス防止や修正等が簡単にできる・データの保管管理簡易化をする。

二つの目的を遂行するために、まず各町内会・自治会の

IT部会の経過

平成14年8月・フリーターキング「IT部会推進にあたっての対応について」、9月・IT部会7地区代表顔合わせ86会長の意識調査アンケート実施を検討。10月・町内会・自治会と行政間での業務効率化に関する第1回アンケート実施、80%がIT講習会に参加との回答。IT講習会準備の為、12月・第2回アンケート実施。

2回のアンケートの結果は次のとおりです。

全項目は紙面の都合で記載ができません。(回答対象者会長)

- 市役所へ提出の補助金申請書類の作成は
手書き 49 ワープロ 19 パソコン 21
- 市役所へ提出の予算書・決算書等添付書類の作成は
手書き 27 ワープロ 20 パソコン 43
- 貴町内会・自治会では会の業務に使えるパソコンを役員がお持ちですか
はい 61 いいえ 18
- 貴町内会・自治会役員の中でパソコンを使える方がいますか
はい 72 いいえ 5
- 研修会を開催した場合貴町内会・自治会で会長・役員のうち誰が参加しますか
町内会・自治会長自身 34
役員のうち誰かを参加させる 37

※ 上記アンケートの集計結果を分析IT部会では、早速行政当局と書式の整合性・講習会場の折衝・準備を行っています。



パソコン講習会開催

今回は、各町内会・自治会の三役を対象

講習会場

地域と学校の取り組み、それぞれ7地区の学校のパソコン教室を借用し、地域と学校の交流の第一歩ができてこれを機会に子供達の生涯学習のお役に立てればと思計画いたしました。大多数の会長、役員は、子供、孫とパソコンを通して子供と学校の話を聞いたり話したり共通の話題で会話ができれば素晴らしいことだと思います。

講習内容

初心者対象、教育用ソフトを使用すればテキストを使わず練習ができる。

〈初心者〉

ワード(文書)、エクセル(表計算)、市提出資料作成までを目的とする。

〈中級者〉

Eメール、インターネット、他。



〔IT部会〕

※ 上級者については別途とする。

参加費・一人1000円(テキスト代、運営費等)

将来的希望

IT部会では、15年度より勉強会・講習会等を重ね、時間をかけて一步一步確かなものになるよう努力していきたいと思います。

あくまでも将来的希望とし、①市(行政)、諸団体とのメールのやりとり ②会長間とのメールのやりとり ③地域からの情報の発信 ④連合会のホームページの開設・難しいが将来を考えてじっくりやって行く ⑤各町内会・自治会員の希望者を対象にパソコン教室開催 ⑥各町内会・自治会館にIT機器設置。(瀬沼)



あきる野市町内会・自治会連合会役員協議事項

十月九日

- 連合会視察研修 東京電力柏崎刈羽原子力発電所
日程 十一月十三日・十四日
● IT部会 八十六人の各会長を対象に「町内会・自治会と行政間での業務効率化に関するアンケート」を行う。
● 会報部会 発行年二回、創刊号十一月下旬、原稿の締め切り十一月二十日まで。
● 全体会議開催について 十月二十四日 市庁舎に決る。

十二月五日

- 日帰り研修 場所 埼玉県の明治製菓とエーザイ美里工場、三月六日に決定。
● IT部会 アンケートの結果 IT研修に関心が高い、申請書式の変更は可能。市総務部地域情報化計画担当から十二月十七日にグループ・インタビューの申し入れがあり、IT部会から三名が出席。
● 会報部会 十一月三十日に創刊号を発行、次号は三月の発行の予定で準備する。

一月二十三日

- 廃棄物減量等審議会の中問答申の件
戸別収集した場合の問題点

六項目を審議会へ提出する。

- NHK「ご近所の底力」番組に対する取材アンケートに協力することに決定。
● 行政配布物受納箱の更新・新設を行うと同時に配布先数について百五十箇所を八十六箇所に改定する。

二月二十六日

- 地域振興費を見直し、一自治会世帯五百千と千一以上の区分を新設。支払い方法を現金から町内会・自治会会計への振込み方式に改定する。
● 日帰り研修の参加者名簿・集合日時、場所確認、西東京バスを使用する。
● 全体会の開催日時 三月十一日十九時三〇分市庁舎にて
● 十五年度連合会総会開催日時 四月二十五日(金)ルビア十八時。

三月二十七日

- 十五年度連合会、総会資料並びに当日の役割り分担について協議。
● その他

- IT部会・会報部会は連合会役員が十二名ずつで担当し、それぞれ頻りに協議を行っています。(草間)

地区紹介

あきる野市内には、86の町内会・自治会で東秋留・西秋留・多西・増戸・五日市・戸倉・小宮地区連合会があり、今回は五日市地区と多西地区を紹介します。

〔五日市地区自治会連合会〕

五日市地区では、通称「五自連」と呼んでいます。19自治会で構成し、3031世帯が加入しています。

明治22年「市制町村制実施」により、五日市町(五日市・小中野)、三ツ里村(小和田・留原・高尾)、明治村(館谷・入野・深沢)が誕生し、大正7年にこの一町二村が合併し、五日市町となりました。武蔵五日市駅西方一五〇M位のところに樽沢が流れています。館谷との境界で、ここから松原街道沿に東町・下町・仲町・上町・栄町と続き、五日市警察署の西側が小中野との境界です。阿伎留神社が鎮座している小庄、獅子舞で有名な五日市入野この7自治会が五日市番地になっており、9月の五日市の祭り

を仕切っています。明治22年に五日市町となった小中野は現在、上小中野と下小中野自治会に分れています。大正7年に五日市町となった三ツ里村は、秋川右岸に位置し小和田・留原・中村(地番は留原)・高尾の4自治会になっています。三ツ里という地名は、秋川漁業協同組合三ツ里支部というように現在でも使われています。

西武信用金庫五日市支店の交差点を北に入った樽・山下駅上の小倉が入野番地になっていて、この北側に深沢があります。駅から南東に広がる上館谷・下館谷の6自治会が明治村でした。以上19自治会が「地区自治会連合会」です。

昨年は流域下水道本部八王子工場や、さいたま市にある国土交通省管轄の「広域水管

理司令室」等を見学し、雨間にある水位計がこの司令室に継がっている事を知りました。また自治会長OBで結成している「十九進会」も、毎年親睦会を開催し、五日市地区の発展に努めています。(田中)



〔多西地区町内会自治会連合会〕

多西地区は、あきる野市の東北に位置し、福生市・羽村市との交流の玄関口にあたり、草花丘陵を中心に、平井川・多摩川に沿った自然の風土と長い歴史をはぐくんだ地域です。多西の名称由来は古く、平



安時代の終わりごろから、多摩郡が東西に分かれ、多摩郡・多西郡と呼ばれ、西の多摩地域をさした時代にさかのぼります。大正十年(一九二一)草花・菅生・瀬戸岡・原小宮の四カ村は、長い歴史を持った多西郡のゆかりの地名を用い多西村として合併成立しました。その後、昭和三十年(一九五五)には、東秋留村・西秋留村と合併し秋多町になるまで三十余年続きました。今日「多西」の名称は、多西小学校と地区ブロックの名として現在残っています。

多西地区の町内会自治会の構成は十五町内会・一自治会(森山・高瀬・草花・折立・西ヶ谷戸・松山・草花台パークハイツ・小宮久保・羽ヶ田・小宮・瀬戸岡・原小宮・菅生・四軒在家・尾崎・草花住宅)が加入し、お互いに連携しながら防災・防犯・自然災害の防止訓練活動。また、事業の面では、地域の特性や、先人の残してくれた伝統文化や文化遺産を大切に活動しています。(森)